

中部圏の将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた
“世界ものづくり対流拠点-中部”

- <世界の中の中部>
世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ
- <日本の中の中部・中部の中の人々>
リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部
- <前提となる安全・安心、環境>
南海トラフ地震などの災害に強くなやか、環境と共生した国土

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区



リニア中央新幹線



新東名高速道路



中部国際空港



名古屋港



FCV(MIRAI)



【方針1】 世界最強・最先端のものづくりの進化

1. 我が国の成長を担う産業の強化
～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～
2. 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
3. 水素社会実現、新しい世界モデルの提示
4. 国際競争力を支える産業基盤の強化

■FCV(MIRAI)



■MRJ



■ヘルスケア産業(新型喉頭鏡)

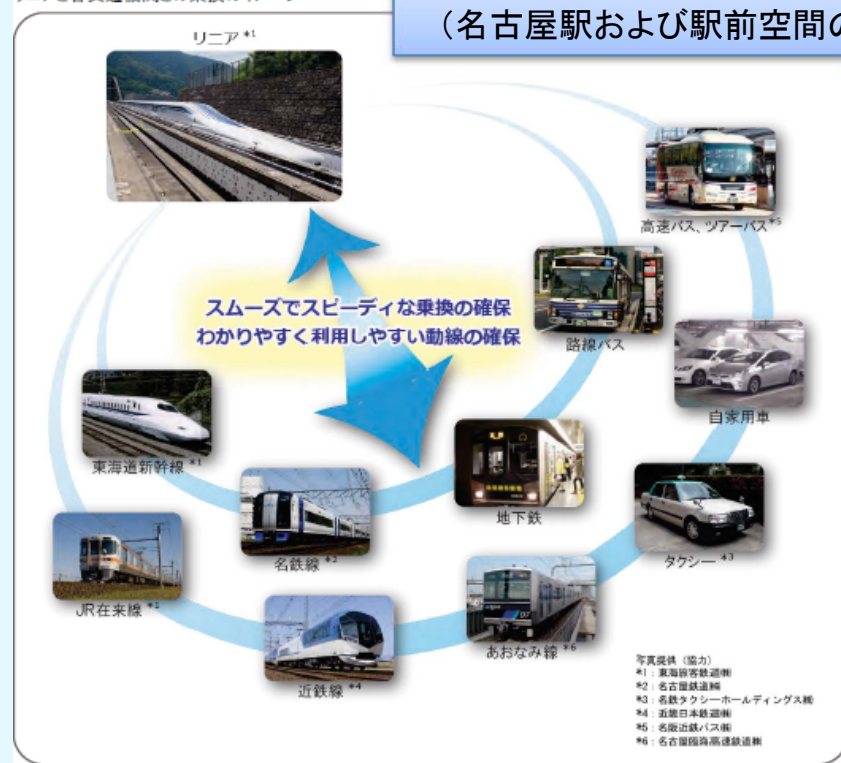


【方針2】 スーパーメガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

1. リニアを活かした新たな中部圏の形成 ～日本のハートランド・中部～
2. リニア効果の中部・北陸圏への広域的波及
3. 国際大交流時代を拓く観光・交流

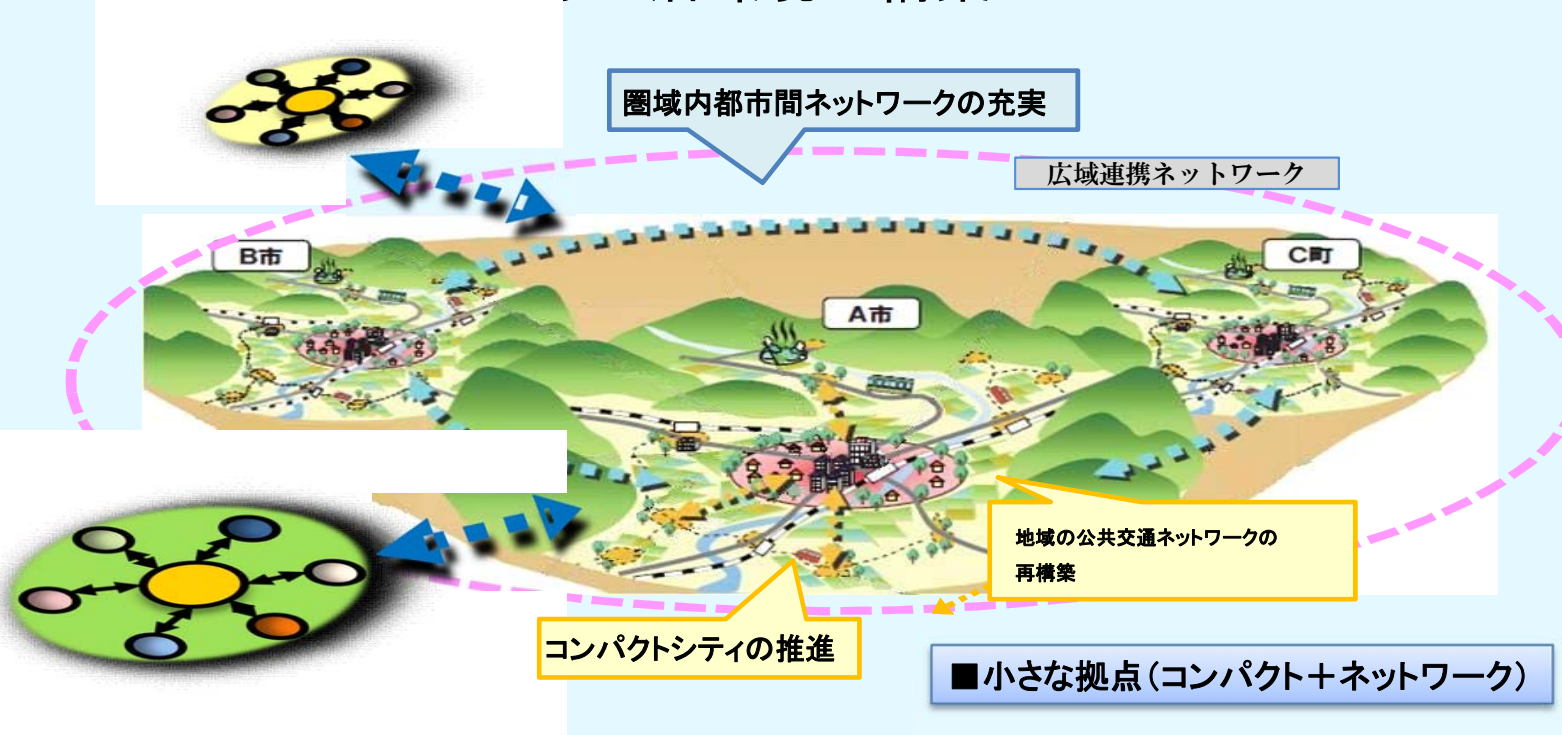
リニアと各交通機関との乗換のイメージ

■名古屋駅スーパーターミナル化 (名古屋駅および駅前空間のイメージ)



【方針3】 地域の個性と対流による地方創生

1. コンパクト+ネットワーク
2. 広域的な連携により創出、都市圏・地方圏形成
3. 地域産業の活性化による地域活力の維持・発展
4. 地域の個性を活かした交流連携の創出
5. 快適で安全・安心な生活環境の構築



海女漁(鳥羽・志摩市)



うだつの上がる街並み(美濃市)



世界遺産・葦山反射炉

【方針4】安全・安心で環境と共生した中部圏形成

1. 災害に対して粘り強くしなやかな国土構築
2. 環境と共生した持続可能な地域づくり
3. 国土の適切な保全
4. インフラの維持・整備・活用



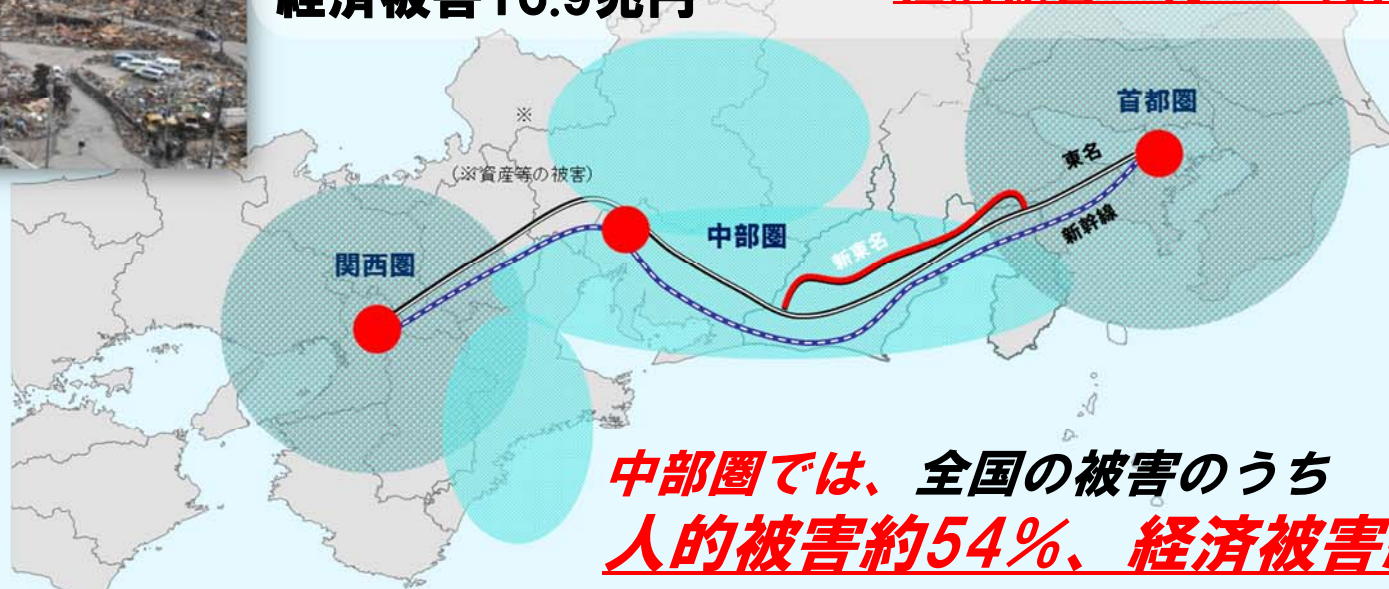
平成26年南木曾町梨子沢土石流(土砂被害)



東日本大震災
人的被害15,900人
経済被害16.9兆円



南海トラフ地震による**中部圏の被害**
人的被害約175,000人 (全国約323,000人)
経済被害 約69.3兆円 (全国約170兆円)



**中部圏では、全国の被害のうち
人的被害約54%、経済被害約41% を占める。**

【方針5】 人材育成と共助社会の形成

1. 中部圏を支える人材の育成と確保
2. 全ての人々が参画し輝く社会の形成
3. 多様な主体による共助社会づくり
4. 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたい地域づくり
5. 医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保



■市民を中心とする多様な主体が取り組む再生エネによる地域づくり事業を支援(飯田市)



■地域の中で支え合うために必要なサービス構築への取り組み(四日市市)

